

★SET UP → Comms Setup

03.jpg

Comms Setup

Baud Rate: 1200, 2400, 4800, 9600, 19k2, 38k4, 57k6, 115k2

Parity: None, Odd, Even

COM Port: None, 1, 5, 2, 6, 3, 7, 4, 8

Data Bits: 7, 8

Stop Bits: 1, 2

Handshaking: RTS/CTS

TNC type: TNC2

Host mode: NONE

Ok, Cancel, Edit

★初めて設定をする時、各項目を選択すると「F1押ししてHelpを見よ」と案内されますが、「X」で閉じてしまい、もう一度項目を選択すれば、設定画面が開きます。(親切なソフトです)

- ・UI-View32をインストールしたPCを、TNCやTM-D710/TH-D72などに接続して使用する場合に必要となる設定です。
- ・Internet接続のみで使用する場合はこの設定は必要なく、“COM Port”=「None」を選択し、“OK”をクリックしてこの窓を閉じます。

=以下TNCやTM-D710/TH-D72などを接続する場合に設定=

“Host Mode” 「NONE」を選択すると、“TNC type”の窓が開きますので、使用するTNCに近い「TNC type」を選択します。

“Edit”をクリックすると、TNCのイニシャライズ、クローズ処理のコマンドファイルの編集が出来ます。(ちょっとベテラン用)
ほとんどのTNCは編集の必要は無いようです。

“Baud Rate”, “Parity”, “COM Port”は使用するPC,TNCの**設定に整合**させてください。

・UI-View32を使用したデジピーター運用など行う場合は、“Host mode”で「Kiss」を選択し、Kissモードで運用します。

・「Kiss」を選択すると図2が表示されますので、“Easy Setup”で使用しているTNCタイプを選択すると、一般的な設定が自動でなされます。

・もちろん“Into KISS”、“Parameter”等を手動で設定することも可能です。

KISS Setup

Into KISS

1: ^M

2: KISS ON

3: RESTART

4:

Exit KISS

192,255,192

Parameters

	Port 1	Port 2	
Tx Delay	30	40	x10 msec
Tx Tail	4	4	x10 msec
Slot Time	10	10	x10 msec
Persist	64	64	

Full Dup

Easy Setup

TNC2, PK, D700, Kan, IF, Cancel

Dual Port TNC

★SET UP → Station Setup

04.jpg

自局に関する情報および[自局BEACON]発信に関する設定です。

“Latitude”、“Longitude”の入力には**特に注意**してください。
「APRSに関する情報」→「自局座標の求め方」を参照し正しい座標を入力
しましょう。(多くの局がこの入力をミスっています。)
GPS受信機を接続していても、ココの設定は必須です。

“Unproto Port” は、「1」。

“Unproto Address” は、TNCを接続している場合、自局BEACON、および
[Status BEACON]を無線送信する時の[Distination],[DigiPass] の設定です。
とりあえず「APRS」が良いです。

ここはあくまで[自局BEACON, Status BEACON]に対する設定で、[Message]
交換や[IGate]により無線送信するときの[DigiPass]とは異なります。

“BEACON comment” は、[自局BEACON]に乗せて発信するコメントを入力
します。一般的には、QTH,QRA等が多く見られます。

“UI-View Tag”を選択すると、他局のUI-View32がこれを認識して、
[Station List]に[+,-]マークを付けたり、BEACONにUI-View32のバージョン 情報
を載せたりします。特段の理由が無い限り、ここは「チェック」です。

“Beacon interval(mins)” は、定期的に送信する[自局BEACON]の
発信に関する設定です。とても重要な設定です。

“Fixed” : 固定局の無線ビーコン発信間隔(30分以上)

“Mobile” : 移動時の無線ビーコン発信間隔。(1~3分以上)

“miles/km” : 移動時、ここで設定した距離分移動すると、ビーコンが発信されます。停止中もしくは移動量が 少なくとも、“Mobile”で
設定した時間間隔で最低1回はBEACON送信されます。

“Internet” : Internet接続時、APRS ServerへBEACONを送る間隔です。固定、移動とも同じ間隔です。(移動1~3分以上、固定30分以上)

“Symbol” : 自局ビーコンを発信すると、世界中のAPRS局の地図上に、貴局が表示されます。どのような[Symbol](アイコン)で表示させるかの設定です。

“Compress Beacon” : BEACONデータを圧縮して送信します。回線占有率が気になり始めたら、使用しなくてはならないかも知れま
せんが、今は「未チェック」でよいです。(圧縮ビーコンを読めないソフトもあります)

Station Setup

Callsign	Latitude	Longitude	Locator
JF1AJE	35.44.20N	139.24.07E	PM95QR
Unproto port	Unproto address		
1	APRS		
Beacon comment			
"Hachi" in Tokyo JAPAN			
UI-View Tag <input checked="" type="checkbox"/>			
Beacon interval (mins)			
Fixed 30	Mobile 0	0	Internet 30
Symbol			
Home			
GPS symbol			
Rec Veh'le			

Rec Veh'le
Red Cross
Repeater
Restaurant
Restrooms
Rover
RSGB
Sat/Pacsat

< 図. 3 >

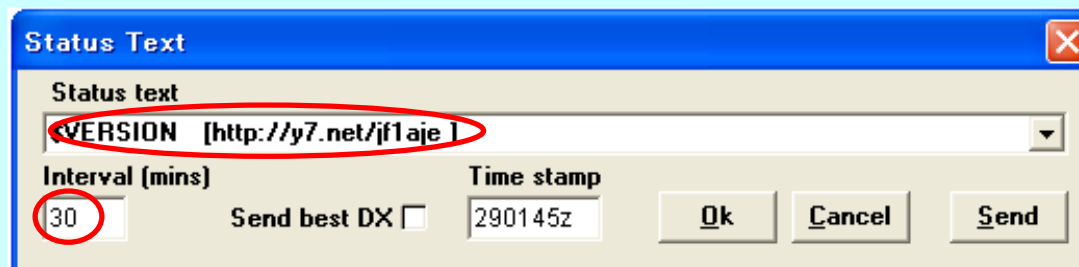
*固定局 : GPS受信機が接続されていないとき、UI-VIEWは自局が固定局と自動認識します。

by JF1AJE(不許複製・転載)
2011/04/17 一部修正

★SET UP → Status Text

05.jpg

自局情報(任意の付加情報)を定期的に送信する (未設定でもOK)



The screenshot shows a dialog box titled "Status Text". It has a text input field containing "\$VERSION [http://y7.net/jf1aje]", which is circled in red. Below it is an "Interval (mins)" field with the value "30", also circled in red. To the right is a "Time stamp" field with the value "290145z". There is a checkbox for "Send best DX" which is unchecked. At the bottom are three buttons: "Ok", "Cancel", and "Send".

“Status Text”には、自局のWebアドレスやその他報知したい内容を入力します。デフォルトのままもOKです。

[\$VERSION]は、自動的にUI-View32のバージョン情報に置き換わります。

例えば「Hachi in Toyko, running \$VERSION」と入力すると、[Hachi in Toyko, running UI-View32 V2.03]と送信されます。これまでに入力した「Status Text」は、ドロップダウン・リストに加えられていますので、そこから選択することも可能です。削除は、リストから選択して、Ctrl+Dを押してください。

“Interval(mins)”は、[Status Text]を送信する間隔の定義です。(デフォルト60分。30分以上推奨)

この機能を停止するには、テキスト入力欄を空白のままにしておくか、送信間隔を「0」にしてください。

“Send best DX”をチェックすると、貴局が無線で直接受信した最遠局情報が[Status BEACON]として送信されます。

“Time stamp”は、最後に[Status Text]を変更した時刻が自動入力されます。

他の局から受信した「Status Text」は、「Details window for the station」で見ることが出来ます。

★SET UP → Station Info

06.jpg

この設定はほとんど意味を持ちませんので、未設定でOKです。

★SET UP → WX Station Setup

APRS気象局運用時の設定です。ベテラン向け。未設定でOKです。

★SET UP → Digipeater Setup

「Digipeaterとは何か」を知っている局長さんが設定する項目。(要Kissモード運用)

★SET UP → Meteor Mode Setup

APRSで流星散乱通信に挑戦!(する時の設定) (むやみに設定すると大変なこと!!)

★SET UP → GPS Setup

07.jpg

PCにGPS受信機を接続して移動運用する場合の設定

固定局ではGPSを接続する必要はありません。(本項を読飛ばしてください)

“Baud Rate”、“ComPort” はGPS受信機とPCの接続ポートを入力。

尚、[HSP]等を使用して1つのCommポートにTNCとGPS受信機両方を接続するときは、ここでTNCと同じポートを設定する。(ベテラン向け)

“Show GPS cross-hairs” は、GPSから得た自己位置に+ マークを表示する機能で、チェックすると図6 が表れるので、いろいろ設定を変えて好みの表示を見つけましょう。

“Line thickness” : 表示線の太さ

“Line length” : 表示線の長さ

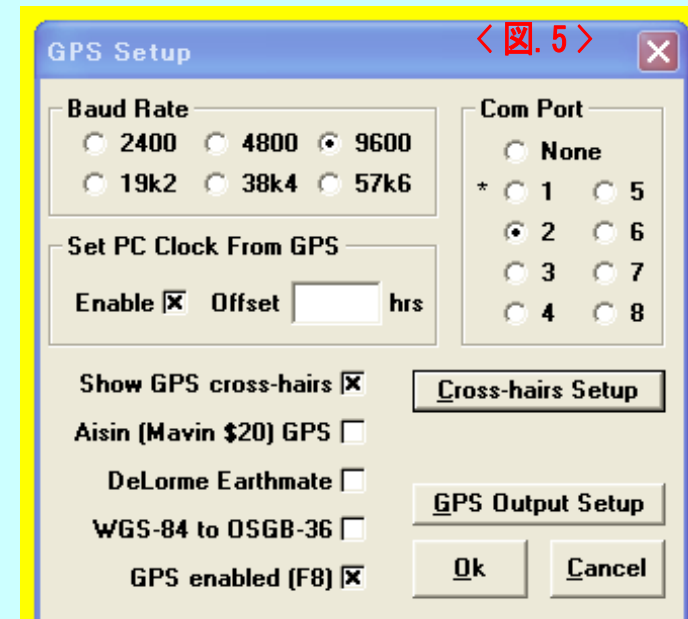
“Line Colour” : 表示線の色

(“Line length”に「0」を設定すると..... 試してみてください)

“GPS Output Setup” は、GPS受信機から受信したデータをそのまま他のCommポートへ出力するための設定です。(ベテラン向け)

“GPS enable[F8]” をチェックすると、GPS受信機からのデータが有効となります。つい忘れてしまうので、要注意。

その他の項目は、**設定不要**。



UI-View32とAPRS仕様との互換性に関する設定 (未設定でもOK)

このダイアログではUI-View32とAPRSの間の互換性のレベルをコントロールします。

注意 - “UI-View(32) extensions” をチェックすると、APRSプロトコルには無いUI-View32独特の機能を有効にすることが出来ます。
周囲の多くの局がUI-View32を使用しており、APRSプロトコルとの互換性が重要ではない場合以外は、“UI-View(32) extensions”は有効にすべきではありません。
日本ではUI-View32利用者が圧倒的なので、チェックしてもさほど問題ではありませんが、海外局とコンタクトする局は、チェックははずしておいたほうが無難(デフォルト)です。

“Unproto address”

APRSフォーマットのメッセージの送出先アドレス。「CQ」「APRS」「BEACON」等がありますが、デフォルト「APRS」のままでOKです。

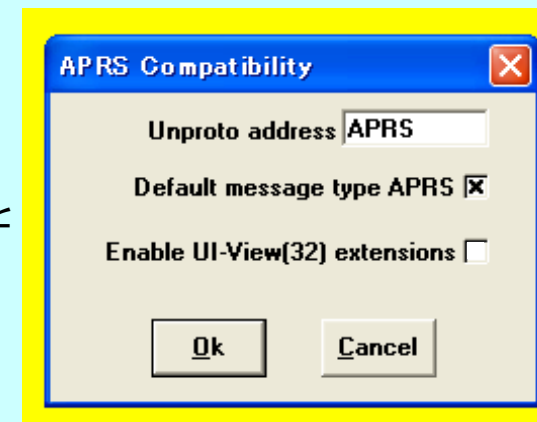
注意-「UIVIEW」は使わないでください。APRSプログラムでは認識できません。

“Default message type APRS”

ここをチェックすると、これまでコンタクトしたことがない局にメッセージを送るときは、UI-View32はAPRSフォーマットのメッセージを使います。ここは「チェック」。

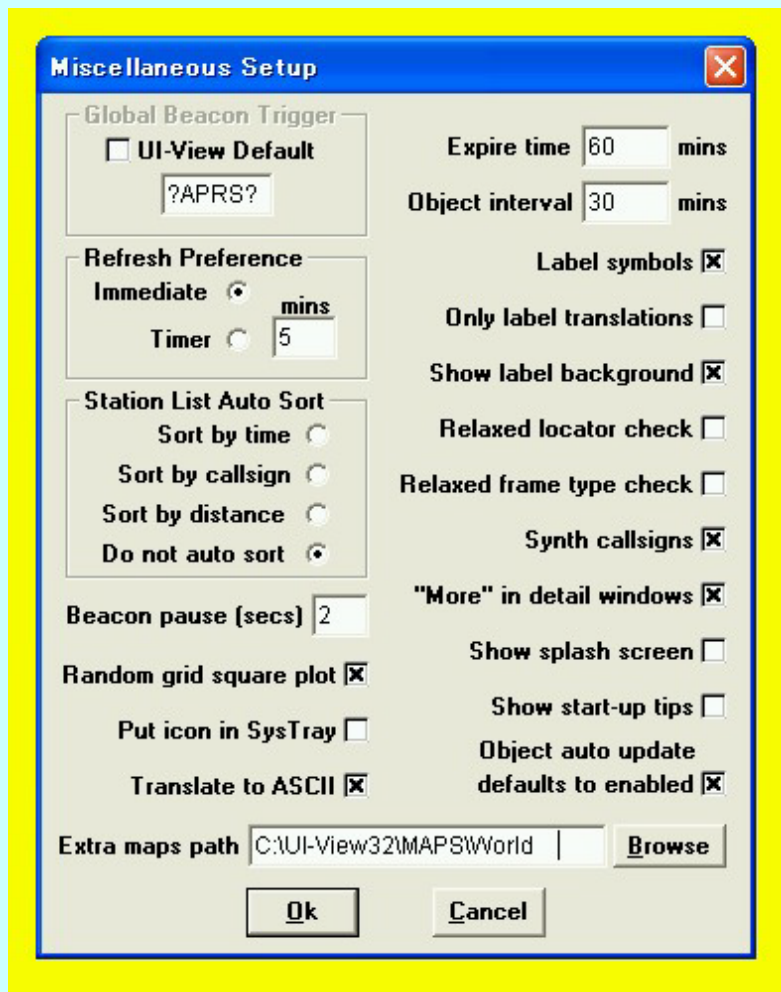
“Enable UI-View(32) extensions”

このオプションがチェックされないと、UI-View32の(APRSと互換性がない)機能は使用できなくなります。常にAPRSフォーマットが使用され、受信されるUI-View32フォーマットのメッセージ拡張機能は無視されます。ビーコンの“UI-View32タグ”は{UIV32N}のように、「N」が記述されます。他のUI-View32使用局のステーションリストで、あなたの callsignの「U」が「-」と表示されます。これは、貴局がUI-View32拡張機能をOFFにしたことを示しています。



その他もろもろに関する設定 (とりあえずデフォルトでもOK)

☆ この設定項目は、少し掘り下げた機能に関するものになってきます。「こんな設定があるんだな」程度に読んで頂ければOK。



【Global Beacon Trigger】

“Action”→“Query All Stations”を実行した時送信される「Message」の定義。

【Auto Refresh Mode】

ここでは、BEACON発信局が移動したとき、なくなったとき、Symbol表示継続時間切れの場合に、どのように画面をリフレッシュするかを定義。
「Immediate」: 移動、削除、期限切れの各タイミングで常に画面をリフレッシュ。
「Timer」 : 設定した「mins(分)」毎にリフレッシュ。

【Station List Auto Sort】

“Station List”が更新された時の“LIST”のソート方法の選択。
「Sort by time」 : 時刻の新しいもの順。
「Sort by callsign」callsigns」: のアルファベット順。
「Sort by distance」 : 距離間遠い順
Internet Serverに接続している場合は自動ソートは停止されます。

【Beacon pause】

複数のポートを使用している時、各ポート間の信号送出手の休止時間を定義。
この設定が関係する局はまだいませんよね。

【Random grid square plot】

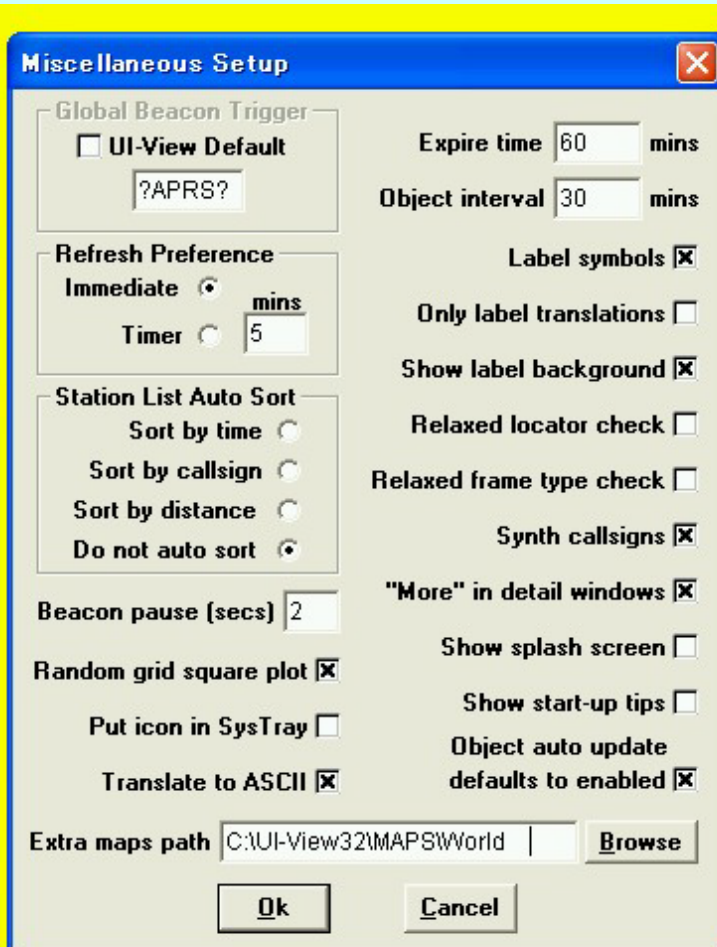
面白い機能です。どのような機能なのか、調べてみてください。(運用には無関係)

【Minimize in SysTray】

“Map window” “Message window”を最小化した時にそれらは SysTray でアイコンとして表示されます。

【Expire time】

ビーコンが最後に受信されてから、この時間の間、“Symbol”として画面に残されています。
デフォルトは60分です。これは30分間隔でビーコン発信している局を継続表示するのにマッチした設定です。
もし一度受信した局をずっと継続して表示しておきたい場合は、「0」を設定。



【Object interval】

これはあなたが作った全ての"Object"の送信インターバルの設定です。

【Don't label symbols】

"局BEACON"や"Object BEACON"が"Symbol"として地図に表示されるときに、"Symbol"に"LABEL"が表示されません。

- ◇"Symbol":地図上の局やオブジェクトの位置を示す印(家や車などのマーク)
- ◇"LABEL":シンボルに付加されるコールサインなどの文字表示

【Only label translations】

"Edit Translations dialogue"の項において設定した「Translations」局の"LABEL"だけが表示されます。

【Relaxed locator check】

UI-View32は受信した"局BEACON"内容からIARUロケータを探し、認識することが出来ます。

【Relaxed frame type check】

デフォルトでは、UI-View32は常に受信フレームをチェックしており、UIフレーム以外の全てのフレームを捨てます。

【Synth callsigns】

UI-View32は"WAVBITS"サブディレクトリーにあるWAVファイルを使用して、コールサインのアナウンスを行います。(MS Agentの方がずっと良いです)

【More in detail windows】

局の情報を見る時("Station List"のコールサインもしくは地図上の"Symbol"のダブルクリック)に詳細情報が合わせて表示されます。「ON」が便利です。

【Show splash screen】 【Show start-up tips】

UI-View32を起動するとき、"splash screen""start-up tips"を表示するか否かの選択です。うっとうしいから「OFF」ですね。

【Object auto update defaults to enabled】

"Object Editor"での「オブジェクト位置自動更新」機能をデフォルトとします。

【Translate to ASCII】

UI-View32はWindowsの拡張ANSI文字コードも同等のASCIIに変換します。

【Extra maps path】

地図サブディレクトリ(デフォルト)のほかに、地図データを格納してあるディレクトリを指定してください。

CD上の地図をディレクトリ指定してUI-View32から呼び出すことも可能になります。

★SET UP → APRS Server Setup

10.jpg

APRSを運用する最も簡単な方法は、APRS Serverに接続することです。
この設定は重要ですので、必ず行ってください。

【Select One or more Servers】

接続したい“APRS Server”を選択します。(複数可)
先ずは下記内容を実行して、日本国内のServerを登録し接続しましょう。
リスト上で左クリックしてからキーボードのインサートキーを押して、
新しいサーバー名 “aprsjp.net:14579”を入力後、リターンを押してください。
“aprsjp.net:14579”がリストに追加されたら、チェックします。
(他のサーバーのチェックは外はずしてください。)

【APRServe logon required】

「チェック」です。接続しようとしているサーバーが、“Local Server”で無いなら、ここはチェックです。

【Text to send on connection】

これは、プロキシなどを使用する場合に利用します。通常は空欄のままOKです。

【Validation number】

UI-View32登録時に入手した
「APRServe validation number」を入力してください。

【Enable auto reconnect】

「チェック」です。UI-View32のサーバーへの接続が切れた場合に、自動再接続を試みます。

【Extra log on text】

ここに記述された内容は、Server接続時にServerへ送られます。
“filter”機能をサポートしているServerへ、ユーザーが定義したfilterコマンドを送る場合などに使用します。今回は空欄でOKです。

【Max silence】

「0」です。(この機能をOFF)
ここに設定した時間何のデータも受信しなかった場合、“APRS Server”または接続に関するトラブルと判断し、強制的に接続をきります。

【Enable local server】

UI-View32をLocal Serverとして稼働させたい場合、ON。

【Gate RF To Internet】 【Gate local messages】 【Use reverse digi path】 【Use reverse digi path】 【Transmit IGATE Status】

“IGate”に関する設定です。“IGate”とは何か、そしてその危険性が理解できるまではチェックしないでください。

★SET UP → MS Agent Setup

11.jpg

CallSign、Messageの音声合成読上げに関する設定

MSエージェントによってコールサインやメッセージを音声合成で読み上げる機能をサポートします。キャラクターの漫画も出てきて、愛嬌のある動きを行います。この機能を使うには、別途MSエージェントをPCにインストールしてはなりません。

【MS Agent】のインストール (2005年末のURL)

- ・「Welcome to Microsoft Agent」のWebを開く (<http://www.microsoft.com/msagent/>)
- ・「Download Microsoft Agent」を選択
- ・「Downloads for end-users」を選択
- ・「Download the Microsoft Agent core components (395 KB exe)」をダウンロード = ① MSagent.exe
- ・「Microsoft Agent character files(喋るキャラクターのソフト)」のプルダウンメニューから
- ・「Genie」、「Merlin」、「Peedy」などを選択してダウンロード = ④Genie.exe, Merlin.exe, Peedy.exe
- ・「Text-to-speech engines」のプルダウンメニューから
- ・「LemOut & Hauspie TruVoice TTS engine-American English(1MB)」を選択してダウンロード = ③tv_enua.exe
- ・「SAPI 4.0 runtime support」の項目で
- ・「Download the Microsoft SAPI 4.0a runtime binaries (824 KB exe)」をダウンロード = ②spehapi.exe
- ・①②③④の順番で実行。完了メッセージは出てきませんが、ここまでで「MS Agent」がPCにインストールされています。

【初期設定】 <図34>

MS Agentを使用するためには、予め「Main Screen」→「Options」→「Sound Enable」をONしておく必要があります。OFFですと「MS Agent」の設定もできません。

【Language】

MS Agentが使う言語の選択です。プルダウンメニューから、「ENGLISH(USA)」を選択してください。

【Character】

どの「Character(キャラクター:オウムとか男性とかいろいろあります)」を選択するかの設定。UI-VIEW32には2つのキャラクターが予め搭載されています。キャラクターによっては、画像が出ない(音声合成のみ)ものもあります。

【Message preamble】

MS Agentが貴局宛の受信メッセージを読み上げる直前に読み上げる内容を定義します。たとえば、「Message from」とか。(メッセージ読み上げの前に必ず発信局のコールを読み上げます。その前に読み上げる内容を設定します。)

【Use for beacons】

ONにすると、ビーコン受信時に発信局コールサインを読み上げます。

【Use for DX Spots】

ONにすると、DXスポット情報を受信時に読み上げます。

【Test】

TEST 鈕を押すと、[Test Text]に入力した内容を試験的に読み上げさせることができます。



by JF1AJE(不許複製・転載)
2011/04/17 一部修正

★SET UP → Exclude/Include Lists

12.jpg

UI-View32が取り込んだBEACONをここで設定する条件で表示したり表示させなかったりします。APRS Serverから受信するデータを選別する“filter機能”との組合せで、さまざまな設定が可能になります。
(とりあえずデフォルトでOKです)

Exclude/Include Lists

Press F1 and read the help! It is not obvious how these lists work, and it is different to some previous versions of UI-View32.

Exclude Callsigns and Object Names	Exclude Destinations	Exclude By Posit Type												
		<table border="1"><thead><tr><th></th><th>Stn</th><th>Obj</th></tr></thead><tbody><tr><td>Exclude fixed stations</td><td><input type="checkbox"/></td><td><input type="checkbox"/></td></tr><tr><td>Exclude wx stations</td><td><input type="checkbox"/></td><td><input type="checkbox"/></td></tr><tr><td>Exclude mobile stations</td><td><input type="checkbox"/></td><td><input type="checkbox"/></td></tr></tbody></table>		Stn	Obj	Exclude fixed stations	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	Exclude wx stations	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	Exclude mobile stations	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	Stn	Obj												
Exclude fixed stations	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>												
Exclude wx stations	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>												
Exclude mobile stations	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>												
		Exclude By Traffic Type												
		Exclude digi'd stations <input type="checkbox"/>												
		Exclude IGATE'd stations <input type="checkbox"/>												
		Exclude internet traffic <input type="checkbox"/>												
		Messages												
		Exclude IGATE'd messages <input type="checkbox"/>												
		Exclude internet traffic <input type="checkbox"/>												

Ignore destination with Mic-E

Exclude By Symbol Type

Clear All Exclusions

Enable exclusions

Exclude stations more than miles away

Ok Cancel

【Exclude Callsigns and Object Names】

コールサインに関する表示、非表示の設定。ここに記述したものは、基本的に非表示です。ワイルドカード「*」利用可。

「J4*」は、「J41」で始まる全ての局を非表示にします。

最近追加された機能で、「!」を先頭に記述することで、「表示する局」の定義が出来るようになりました。

「!J*」は、頭が「J」で始まるすべての局を表示。

【Exclude Distinations】

上記と同様の機能を“Distination”に対して定義する欄です。

「GPS」と定義すると、“NAVITRA”局(DistinationがGPS)を非表示にすることが出来ます。

【Ignore destination with Mic-E】

“Destination”が“Mic-E”で圧縮された局を非表示にします。

【Exclude By Symbol Type】

非表示にしたい“Symbol”を選択できます。

【Clear All Exclusions】

全ての“Exclude”指定を削除します。

【Enable exclusions】

「チェック」すると“Exclude”指定が有効になります。

【Exclude By Posit Type】

ビーコンの種類によって“Exclude”する内容を設定します。

【Exclude By Traffic Type】

パケットの経路によって“Exclude”する内容を設定します。

【Exclude stations more than miles away】

自局から何Km以上離れている局を“Exclude”します。

★SET UP → Auto Track List

13.jpg

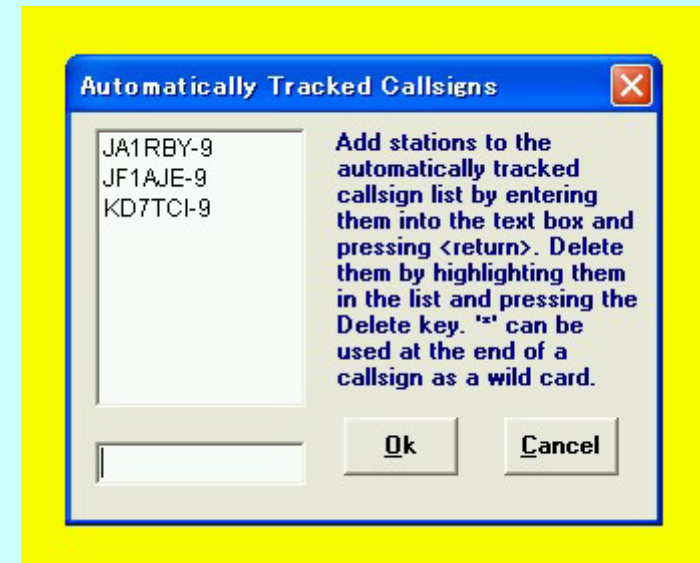
自動的に指定した局の最適表示画面を選択する。

【Automatically Tracked Callsign】

ここにリストした局のビーコンを受信すると、自動的にその局を表示するのに最適な地図(最大縮尺)に切り替わり、表示します。

複数設定している場合は、それら全ての局が含まれる最大縮尺の地図表示になります。

リスト局が移動すると、表示地図も自動で切り替わります。(地図がインストールされている場合)



by JF1AJE(不許複製・転載)
2011/04/17 一部修正

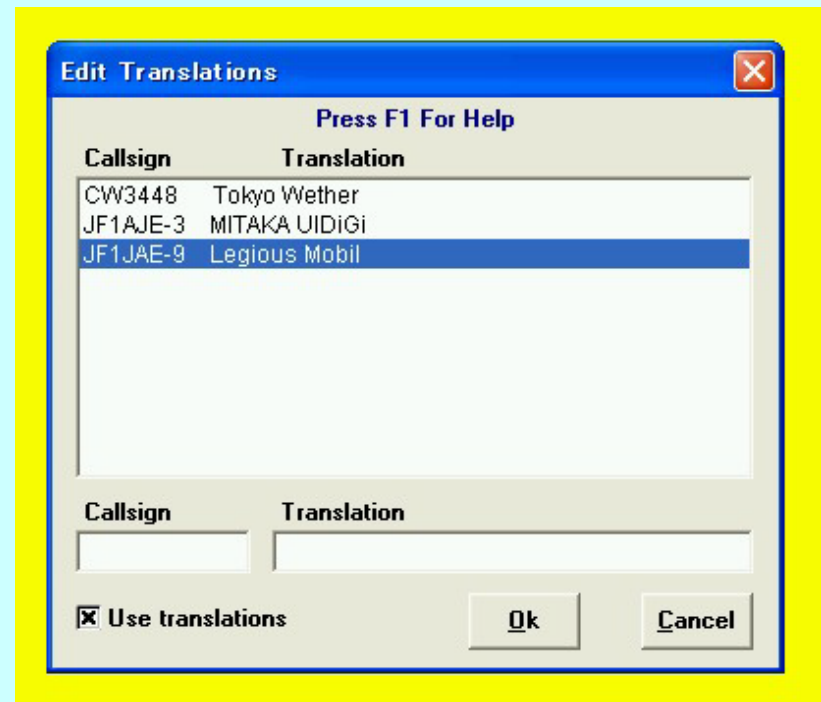
★SET UP → Edit Translations

14.jpg

コールサインの読み替え機能です。使い方によってとても有用な機能です。
(とりあえずデフォルトでOKです)

“Callsign”に入力したコールを“Translation”に入力した内容で読み替えて表示します。

たとえば右図の設定では、通常「JF1AJE-9」と地図に表示される場所、
「Legious Mobile」とラベル表示されます。

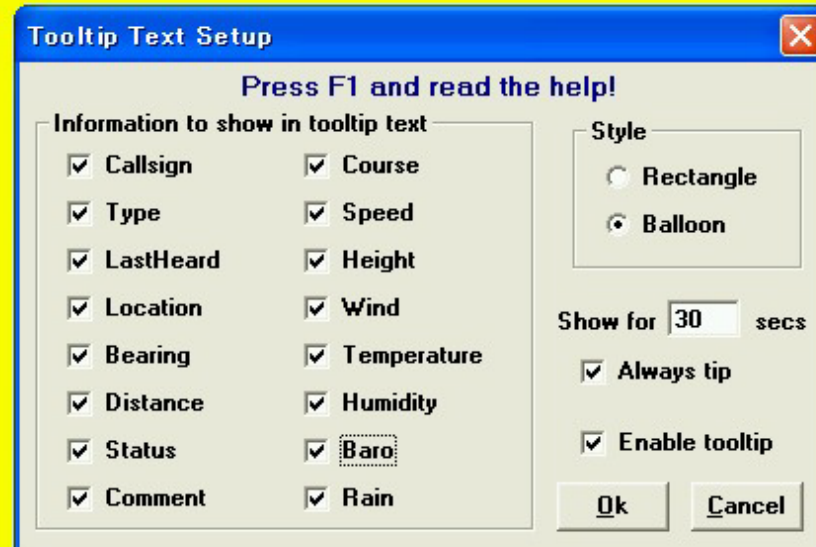


by JF1AJE(不許複製・転載)
2011/04/17 一部修正

★SET UP → Tooltip Text Setup

15.jpg

(とりあえずデフォルトでOKです)



★SET UP → Colors

16.jpg

(とりあえずデフォルトでOKです)

“Monitor”画面の文字、背景および、“Grid Squares”の表示色の設定です。
UI-View32の色に関する設定はココ以外にも何箇所か存在します。

